

資料配布の場所・日時

1. 筑波研究学園都市記者会(資料配布)
2. 国土交通記者会(資料配布)
3. 国土交通省建設専門紙記者会(資料配布)

日時：令和7年3月6日(14:00)



令和7年3月6日

国立研究開発法人土木研究所

土木研究所において、グラウンドアンカーの飛び出しによる 第三者被害を予防する「防護構造」の主要器具 「受けキャップ」に関する意匠を新たに登録しました。

このたび新たに意匠登録をしましたので、創作の内容を添えて公表します。
ホームページの特許等リストも更新しましたので、併せてお知らせします。

■ グラウンドアンカー飛出し防護受けキャップ(意匠登録第1791378号)

- ・ グラウンドアンカーが破断しても直ちに斜面変状が生じるわけではないが、アンカー材が数100メートル先まで飛翔する事例もあり、仮にそのようなことが起こっても道路利用者(通行者、車両)や近隣住民等の第三者被害は確実に予防しなければならない。
- ・ このような第三者被害を予防する特許技術「斜面からの飛出し物の防護構造(特許第7398682号)」を構成する主要器具「グラウンドアンカー飛出し防護受けキャップ」の改良を行い、施工性や管理時の視認性を高める意匠(デザイン)を新たに創出した。
- ・ 詳しくは、別紙をご参照ください。

■ 土木研究所ホームページ

<https://www.pwri.go.jp/jpn/results/patent/index.html>



問 い 合 わ せ 先

国立研究開発法人土木研究所

【実施契約等について】

技術推進本部(実装技術) 上席研究員 稲井 康弘

主任研究員 長屋 優子

電 話 029-879-6800(直通)

メール chizai@pwri.go.jp

【意匠技術の内容等について】

地質・地盤研究グループ 上席研究員 間瀬 利明

施工技術チーム 特任研究員 近藤 益央

電 話 029-879-6759(直通)

メール sekou01@pwri.go.jp

グラウンドアンカー飛出し防護受けキャップ

(意匠登録第1791378号、令和6年6月20日出願、令和7年2月7日登録)



(1) 新たに登録した意匠の概要

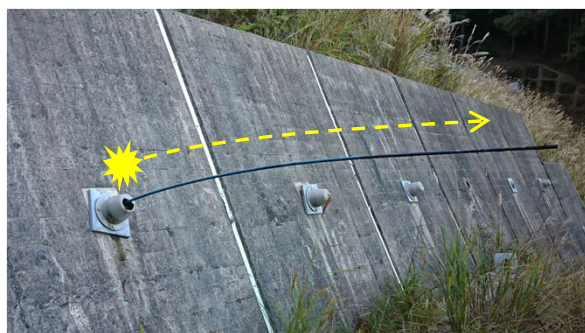
- グラウンドアンカーが破断しても直ちに斜面変状が生じるわけではないが、アンカー材が数100メートル先まで飛翔する事例もあり、仮にそのようなことが起こっても道路利用者（通行者、車両）や近隣住民等の第三者被害は確実に予防しなければならない。
 - 土木研究所では、このような第三者被害を予防する特許技術「斜面からの飛出し物の防護構造（特許第7398682号）」を開発し、その主要器具である「グラウンドアンカー飛出し防護受けキャップ」の更なる改良を進めた結果、新たに意匠を登録するに至った。
なお、主な改良点は以下のとおりである。
- ① グラウンドアンカーが破断して飛び出す際に、アンカーヘッド捕獲具が破壊されることなく飛び出そうとするアンカー材を受け止められる「強度」を確保しつつ、急峻な道路斜面等に人力運搬されることが多い実態を踏まえ「軽量化」も実現できる意匠とした。
 - ② 遠く離れた道路上等からの目視点検によりグラウンドアンカーが破断したか否かを判断できるよう、アンカーヘッド捕獲具を極力覆い隠さず、またH鋼等に比べて柔らかい部材を採用することでアンカー材を受け止めた際に生じる変形を大きくし、視認性を高める意匠とした。

(2) 適用による効果

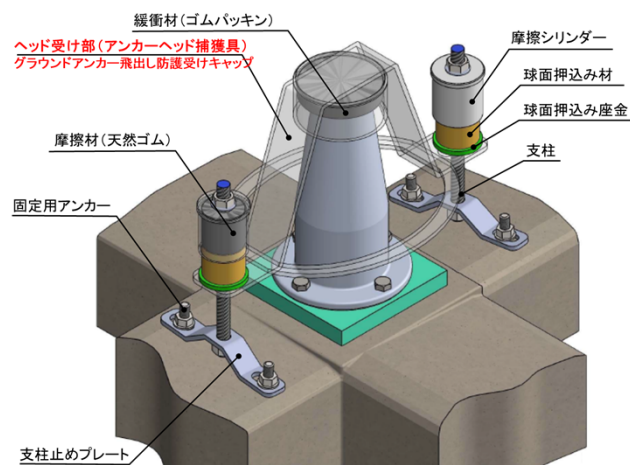
- 施工性や管理時の視認性を高める「グラウンドアンカー飛出し防護受けキャップ」の意匠改良によって、特許技術「斜面からの飛出し物の防護構造（特許第7398682号）」の社会実装が促進され、第三者被害の発生が未然に防止されると期待される。

(3) 開発者、問合せ先

- 土木研究所 地質・地盤研究グループ 施工技術チーム（電話（直通）：029-879-6759、メール：sekou01@pwri.go.jp）



アンカー材の飛び出し被害



意匠登録したグラウンドアンカー飛出し防護受けキャップを組込んだ斜面からの飛出し物の防護構造（特許第7398682号）



【特許登録時の意匠】



【今回登録された意匠】
(登録第1791378号)